

赤坂地区版計画書（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 意見数

	件数
(1) 区民意見募集（郵送、インターネット等）により寄せられた意見 募集期間：令和2年11月11日～12月11日 人 数：5人（うち郵送1人、インターネット4人）	5件
(2) 区民説明会での参加者意見 開 催 日：令和2年11月15日・17日 人 数：20人	4件
(3) 区民参画組織での会議での参加者意見 開 催 日：令和2年11月19日	11件
計	20件

※ 港区基本計画（素案）及び地区版計画書（素案）は、合同で区民説明会を実施しました。

※ 件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 意見への対応状況

	対応状況	件数	区民意見募集	区民説明会	区民参画組織
1	意見を反映し、計画素案を修正したもの	1件	0件	0件	1件
2	計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの	16件	4件	4件	8件
3	計画素案では記述していないが、既存事業等に対応しているもの	3件	1件	0件	2件
4	意見の内容が対応できないもの	0件	0件	0件	0件
5	区政に対する要望等として受けたもの	0件	0件	0件	0件
	計	20件	5件	4件	11件

赤坂地区版計画書（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
1	I かがやくまち	たばこのポイ捨てへの啓発として路面にシールを貼っているが、数年後には劣化してしまう。まちの美観を損ねているので改善してほしい。	パブコメ（郵送）	赤坂地区総合支所	協働推進課	巡回指導員が、路上喫煙の巡回とともに路面シールのチェック及び貼り直しも行っていきます。シールの剥がれ等で気になる場所がありましたら、協働推進課までご連絡ください。	3
2	I かがやくまち	かがやくまち分野の政策の成果指標として「赤坂地区が住みよいと考えている区民の割合」を挙げているが、現在も約8割の方が満足しているため、9割まで増加させるのは難しいのではないかと。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	目標値の成果指標として設定した「赤坂地区が住みよいと考えている区民の割合」は、区民意識調査で「まあまあ住みよい」と回答した方も含めるため、9割という数値を設定しました。	2
3	I かがやくまち	青山地域の国道沿いの放置自転車対策を関係機関等と調整して進めてもらいたい。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	まちづくり課	地域の方々と構成する港区青山通り協議会に、区、都、国が出席し、放置自転車対策などの情報交換をしています。引き続き、関係機関等と調整して青山地域の国道沿いの放置自転車対策に努めてまいります。	2
4	II にぎわうまち	「赤坂親善大使 魅力発信プロジェクト」について、キャラクターを発信することが地域の魅力アップやイベント参加の理由付けになるのであれば効果的かもしれないが、それよりも人が実際に交流する事業に予算を回してほしい。	パブコメ（インターネット）	赤坂地区総合支所	協働推進課	赤坂親善大使は平成26年度に区民の皆様によって制作された地域のマスコットキャラクターです。現在では多くの方々に親しまれ、地域情報の発信や地域の行事やイベントの活性化に貢献しており、今後も地域から生まれた地域資源として活用してまいります。	2
5	II にぎわうまち	Twitterアカウントは区で統一した方がよい。	パブコメ（インターネット）	赤坂地区総合支所	管理課	区ではフォロワーが、希望する分野の情報を受け取りやすくするため、また、各部門が有する詳細な情報をタイムリーに発信するため、Twitterのアカウントを各部で作成し、運用しています。	2
6	II にぎわうまち	フォロワー数のみを成果指標とするのではなく、情報更新の頻度やエンゲージメント数等もあわせて指標にし、情報が伝達されているか分析することも必要だと思ふ。	パブコメ（インターネット）	赤坂地区総合支所	協働推進課	ツイッターのフォロワー数を地域に対する興味・関心の度合いを測る目安の1つとして考えています。各投稿別のエンゲージメント（閲覧）数やリアクション回数等を踏まえ、必要な情報更新の頻度や内容を検証し、より効果的な情報発信に取り組みます。	2
7	II にぎわうまち	人と人のつながりに関する成果指標として、ツイッターのフォロワー数よりも、人のつながりで生じる情報量や、それがいかに人の行動に影響したかを見るべき。	区民説明会（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	人と人とのつながりを深めるために、まずは地域への愛着を持ってもらうことが大切と考えます。フォロワー数が地域への興味・関心の目安の1つになると考え、地域情報を発信するため成果指標として設定しました。	2
8	II にぎわうまち	町会・自治会と協力するという趣旨の記載があるが、町会・自治会内での情報共有が難しかったり、活動自体も少ないと感じている。区側と町会・自治会側の考えにはギャップがあるのではないかと。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	区は町会・自治会への定期的な情報提供を継続的に行うとともに、町会連合会と情報共有を行いながら活動の支援を行っています。また、団体ごとの課題について個別に専門家を派遣し支援する「町会・自治会活動応援個別プログラム」なども適宜行っています。	3

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
9	Ⅱ にぎわうまち	赤坂・青山の魅力を赤坂地区以外の場所にも周知することができれば効果的ではないか。	区民説明会 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	現在、フェイスブックとツイッターを活用して地域の魅力を広く発信するほか、連携自治体である岐阜県郡上市や和歌山県和歌山市でのPR活動等を行っています。今後も様々な工夫により赤坂・青山の魅力を広く伝えていきます。	2
10	Ⅱ にぎわうまち	にぎわうまち分野－政策1－施策(2)の成果指標は「Twitterのフォロワー数」となっているが、例えば、Instagramのハッシュタグで「赤坂」「青山」と書いているものを集めるなど、少し違った指標も考えると良いのではないか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	多くの人に地域の魅力を伝えることができているかを評価するために、ツイッターのフォロワー数を興味・関心の目安の1つと捉え、成果指標として設定しました。ツイッターだけでなくSNS上でのキーワード検索も活用し、効果的な情報発信を行います。	2
11	Ⅲ はぐくむまち	「赤坂・青山多世代交流促進事業」について、多世代交流は常時世代間交流する機会をもつことで地域に根付いていくものだと思う。年1度の大きなイベントよりも、小規模のイベントを複数回行う方が効果的ではないか。	パブコメ (インターネット)	赤坂地区総合支所	管理課	子ども中高生プラザ、いきいきプラザ、区民センターなどの施設は、世代間交流を含めた様々な事業を実施しています。「赤坂・青山多世代交流促進事業」は、こうした地域の施設や活動などを一度に発信できる機会を創出し、交流のきっかけ作りとして計画しています。本事業をきっかけに各施設においても交流促進を含めた様々な事業を展開してまいります。	2
12	Ⅲ はぐくむまち	高齢者と若い人の交流が重要であり、ふれあいサロンの予算を増やしてほしい。	区民説明会 (赤坂)	赤坂地区総合支所	区民課	本事業は、区民メンバーとともに、地域の中で高齢者の交流の場として開催するものです。今後も社会貢献に積極的な企業や大学等の多様な団体と連携を図るなど、地域の資源を大いに活用し、多世代が交流できるイベントの企画や講座内容の充実等工夫してまいります。	2
13	Ⅲ はぐくむまち	「赤坂・青山多世代交流促進事業」の事業内容からは、1,000人規模の事業をイメージできない。また、令和3年度の予算が373万円となっているが、年1回のイベントの金額としては予算規模が大きいと思う。根拠としているこれまでの取組実績などあるのか。事業をイメージできる記載をした方が良いのではないか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	管理課	赤坂・青山多世代交流促進事業は、地域を挙げて実施する「あっぷりんぐ高輪フェスティバル」などを参考にしています。事業の内容がイメージしやすいような記載内容に修正します。当事業は、全体を取りまとめる事務局設置等のため、令和3年度に事業の実施支援を事業者へ委託します。3年間をかけて、各施設が事務局を運営できるよう、段階的に委託費用を漸減します。	1
14	Ⅳ 実現をめざして	新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた計画を策定し、実行してほしい。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	本計画では新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら長期的な展望で計画を策定しています。事業実施においては、オンラインを活用するなど、開催及び運営方法を検討します。また、人が集まる場合は、徹底した感染症対策を講じた上で事業を開催します。	2
15	地区版計画書全体	高輪地区の防災の取組に赤坂地区の住民は参加できないということがあり、同じ区内なのに他の地域で実施されているサービスが利用できない不公平がある。特定の地区で行われる事業に他地区の区民が参加できるようにしてほしい。	区民説明会 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	各地区総合支所では、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力を高めるため、支所が独自に取り組む事業(地域事業)を実施しています。地域事業の参加対象は、地区内の住民に限定するものではありませんが、事業内容等を踏まえ、一部対象を限定させていただく事業もあります。より多くの方に地域事業に参加していただけるよう工夫してまいります。	2

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
16	地区版計画書全体	今後、どのようにして地域の若い人にリーダーシップを取らせながら計画を実行していくかが課題である。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	「赤坂でつながり隊」や「赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業」において若年層も参加できるよう内容を工夫しています。事業参加をきっかけに地域の活動に興味を持ってもらい、将来的に地域活動の中心となる人材の育成につなげていくことを考えています。	2
17	地区版計画書全体	数値目標の達成だけにとらわれずに、計画がめざすまちの姿を意識しながら事業を実行してほしい。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	数値目標は効果を測る目安として活用します。計画におけるめざすまちの姿や各政策のめざす方向性等に基づき、地域の課題解決や魅力向上に向けて、各事業を実施していきます。	2
18	地区版計画書全体	新しく成果指標が導入されたことは評価したいが、それをどのように実行していくか、進捗管理の仕方、どのようなメンバーがどのような手法で判断するのか、また、指標の数字が適切なのかなどを考える必要がある。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	赤坂地区版計画推進分科会の中で計画の進捗管理を行っています。今後は、指標に対する評価も併せて行っていく予定です。	3
19	地区版計画書全体	現状の成果指標の数値が十分高いのならば、あえて数値目標を設定せずに文章で記載するだけでも良いのではないか。計画に否定的な人もいると思うので数値目標は慎重に考えて欲しいと思う。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	今回の計画では、目指す目標を区民に分かりやすく示すため、政策と施策に取組の成果を数値で示す成果指標を新たに設定しました。	2
20	地区版計画書全体	数値目標の設定は評価するが、その根拠となるものが十分ではない。数値目標を出す以上は、ある程度しっかりとした根拠を示してほしい。	区民参画組織（赤坂）	赤坂地区総合支所	協働推進課	数値目標については事業の実施状況や実績等を基に設定しています。具体的な事業内容については主な取組の中で説明しています。	2